愛媛新聞

パスやトライ　小中生笑顔　日本ラグビー協　新田高で講座

12月まで楽しさ伝える（2025 年 9 月 19 日：愛媛新聞）

ラグビーの競技人口拡大に向けた小中学生向け講座が17日、松山市の**新田高ラグビー場**で開講した。初心者4人を含む男女約30人が高校生らに教わってパスやトライを成功させ、喜びの一端を味わった。

日本ラグビー協会が本年度は全国5カ所で開く「**放課後ラグビープログラム**」の一つ。学校や地域の枠を超えて競技の楽しさを知ってもらうのが目的で12月まで計10回行われる。

午後6時半に始まった講座では、同校ラグビー部の**亀岡政幸**監督が「エンジョイラグビーをテーマに、全員が楽しめるように考えてやろう」と呼びかけた。参加者は競技の複雑なルールはさておき、相手のタッチをかわし、パスをつないで得点するなどして心地よい汗を流した。

競技初体験の松山西中1年久保田葵さん（13）は「痛そうなイメージだったタックルなどもなく、みんなで協力してできたのが楽しかった」と笑顔。早速地元クラブに入会を決めた児童もいた。

県協会によると、2023年度の県高体連登録者数は227人で、10年前と比べ約80人減少している。

視察した元日本代表で日本協会普及担当の**守屋篤**さん（43）は「今回をきっかけに活動を継続してもらい、愛媛のラグビー界の発展につなげてもらいたい」と願った。（門屋駿介）

パスやトライ 小中生笑顔

日本ラグビー協 新田高で講座

12月まで 楽しさ伝える

相手のタッチをかわす練習でラグビーの楽しさに触れる参加者
＝17日、新田高ラグビー場

ラグビーの競技人口拡大に向けた小中学生向け講座が17日、松山市の新田高ラグビー場で開講した。初心者4人を含む男女約30人が高校生らに教わってパスやトライを成功させ、喜びの一端を味わった。

日本ラグビー協会が本年度は全国5カ所で開く「放課後ラグビープログラム」の一つ。学校や地域の枠を超えて競技の楽しさを知ってもらうのが目的で12月まで計10回行われる。

午後6時半に始まった講座では、同校ラグビー部の亀岡政幸監督が「エンジョイラグビーをテーマに、全員が楽しめるように考えてやろう」と呼びかけた。参加者は競技の複雑なルールはさておき、相手のタッチをかわし、パスをつないで得点するなどして心地よい汗を流した。

競技初体験の松山西中1年久保田葵さん（13）は「痛そうなイメージだったタックルなどもなく、みんなで協力してできたのが楽しかった」と笑顔。早速地元クラブに入会を決めた児童もいた。

県協会によると、2023年度の県高体連登録者数は227人で、10年前と比べ約80人減少している。視察した元日本代表で日本協会普及担当の守屋篤さん（43）は「今回をきっかけに活動を継続してもらい、愛媛のラグビー界の発展につなげてもらいたい」と願った。（門屋駿介）

令和 7 年 9 月 19 日　愛媛新聞「スポーツ面」

（掲載許可番号：d20250922-06）

来社

三井住友信託銀行
松山支店年金営業課
長　鈴木浩一氏、調査役　坂本毅志氏▽ラグビー元日本代表　守屋篤氏

令和 7 年 9 月 19 日
愛媛新聞「来社欄」